

兵庫県のにり漁場環境情報 (神戸市、東浦海域 4号)

海域全般に、小型珪藻のスケルトネマが多く確認されます。表層の窒素は、明石海峡付近と神戸沖で概ね1~2 $\mu\text{g-at/L}$ 、神戸地先・東浦地先で1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下の値となっています。しかし、-10m層の窒素は一部を除いて1~2 $\mu\text{g-at/L}$ と表層よりもやや高い値となっています。

(水温) 神戸地先は平均9.7 $^{\circ}\text{C}$ 、神戸沖は平均9.6 $^{\circ}\text{C}$ 、東浦地先は平均9.8 $^{\circ}\text{C}$ 。

(塩分) 神戸地先：31.68~32.39psu。神戸沖：32.21~32.42psu。東浦地先：32.45~32.52psu。

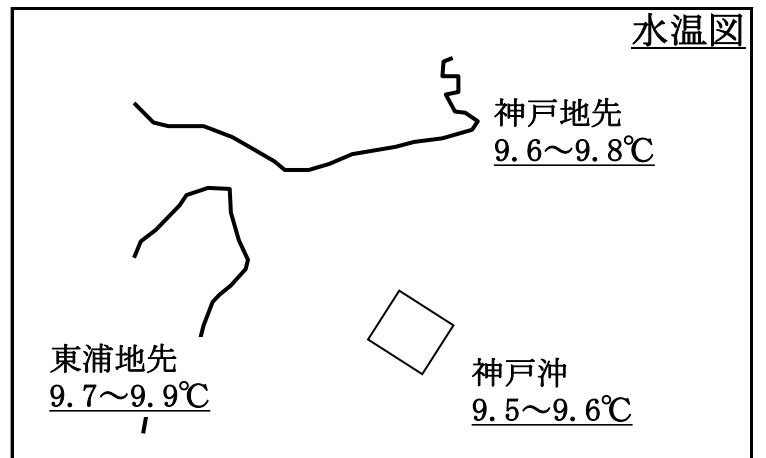
(珪藻) 海域全般に、小型珪藻のスケルトネマが多く確認された。明石海峡部と神戸沖では、スケルトネマの発生量は、約400~600細胞/mlとやや多い状況であったが、神戸地先と東浦地先では1,000~5,000細胞/mlと多く確認された。また、小型珪藻のスケルトネマの発生量が増加しているため、リンの値も減少していた。

-10m層では、表層同様、海域全般にスケルトネマが多く確認された。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温	8.9	9.7	11.3	10.4
	窒素	3.7	1.0	2.5	3.8
	リン	0.43	0.13	0.20	0.32
神戸沖	水温	8.9	9.6	11.1	10.5
	窒素	2.5	1.4	1.9	1.4
	リン	0.42	0.22	0.21	0.26
東浦地先	水温	8.7	9.8	11.1	10.5
	窒素	2.4	0.8	1.8	0.5
	リン	0.44	0.17	0.20	0.14

(2/14)

(3/22)



栄養塩 (窒素) 図

2025年 3月21日調査

満潮~下げ始め (明石海峡：東流)

調査時間； 7:57~10:05

